

協会ニュース

一般社団法人広島県精神保健福祉協会

平成28年度

Vol. 37

依存症回復施設として

一般社団法人広島ダルク・北広島ハウス 寮長

峰尾 弘

広島ダルク開設準備室としてスタートしてから八年が過ぎ、法人化して二年目に入りました。当初予定と言いますか妄想？と言いますか？想像していた広島県内で、「依存症回復施設」として本当に広島ダルクは地域で役割を果たしているのか・・・。

この度、原稿の依頼を頂き改めて代表理事の井上と考える時間をもちました。医療の現場で働く皆さまと何よりも本当に治療が必要な依存症者に、私たちの活動が届いているのかと・・・今後の広島ダルクの課題とありのままの現状を書いてみたいと思います。

広島ダルクは中区千田町にありました。お世話になった社協さんの建物から移転して同区富士見町（広島市精神保健センターある建物一階）に八月一日より事務所を構えリスタートしました。

入寮施設として「北広島ハウス（山県郡）」を運営しています。定員八名、広島保護観察所委託事業、自立準備ホームとしても利用いただいています。この原稿を書いている現時点で、この制度を利用して入寮している方は二名です。また、保釈プログラムを利用してダルクプログラムを受けつつ入寮生活をしながら、裁判を待っている仲間が一名利用しています。こ

の保釈プログラム期間で、引受先であるダルク施設を探し、情状証人などのサポートをしていきます。具体的には、判決後に薬物やアルコールを使うことのできた環境や再三繰り返してきた結果を変えてもらうことを目的に、本人には他府県のダルクに行ってください。そうして、ダルクプログラムに繋げる所までをワンパッケージとして、入寮施設を利用している方のサポートをしています。

書いていて思いましたが、司法からダルクに繋がるケースが圧倒的に多いのが現状です。また島根・尾道・広島などの矯正施設の“薬物離脱教育”に講師として派遣させていただいたのも大きな要因かと思いますが、仮釈放期間ダルクに入寮しダルクプログラムに繋がるケースや、法改正によって刑の一部執行猶予判決を



広島ダルク事務所

受けた被告がダルクを利用するケースも、今後増えていくことが予想できます。この様に司法の現場からダルクで治療を受ける道筋は整いつつあり、広島ダルクでは受け入れ態勢も出来ました。

開設準備室の時から瀬野川病院さんには広島ダルクはメッセージミーティング（月二回）に入らせていただいています。しかしながら残念なことに、まだ一例も広島県内の医療の現場からダルクに繋がった事例がないのも事実なのです。これは今後、今以上に広島県内にダルクが定着し認知されるために、もうこれ以上目を逸らすことのできない最重要課題です。

私自身 17 年前に東京の精神科病院で、薬物依存症と診断されダルクに繋がりました。そし

て現在があります。ダルクを紹介していただき仲間に会う機会を頂きました。そして人生が変わりました。

医療、家族、そして本人、ここに行政が加われば無駄に命が奪われることなく、苦しんでいる依存症者と、その家族に適切なサービスを提供できるのではないのでしょうか。

今後広島ダルクは近い将来、障害者総合支援法に基づいた事業所の運営を目指して、日々活動しています。さらには医療機関と行政に向けて広島ダルクの活動にご理解とご協力をいただけるように、今一層の努力をしていきますのでご遠慮なくお問い合わせをしてください。

研修会報告

平成27年度広島県児童思春期精神保健事例検討ワークショップ



開催日：平成28年1月16日（土）

講演テーマ：「自分を傷つける行動への理解と対応～子どものメッセージをよみとる～」

講師：松本 俊彦 先生

（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長
自殺予防総合対策センター副センター長）

会場：広仁会館（広島大学霞キャンパス内）

参加された方より

- ◇ 自傷・自殺について「死にたい」と言われたら、どのように対応したらいいのか迷うことがありました。今回の公開レクチャーを聞いて、自傷、自殺をする背景のことを考えてみようと思いましたが、共感しながら懸念も伝えることが大切だということを知ることができ勉強になりました。
- ◇ 自殺・自傷についての講演について初めて聞き、かじった知識だけでそのような行為をとらえていたと考えさせられました。自分にできることを考えながら、子供たちへのよりそった適切な対応につなげていきたい。非常に有意義な時間でした。

平成27年度地域社会交流促進研修会



開催日：平成28年3月5日（土）

講演テーマ：精神障害者の就労支援～当事者と共に～
～就活から定着までの当事者と支援者のスキル向上とネットワーク構築～

講師：横山 泰三 先生

（中山心療クリニック 就労支援担当）

会場：Seno リバービレッジ

参加された方より

- ◇ プロセス(イメージ)図で制度の概要を把握できました。ピラミッドのどこかと関わりながらも、つらさを抱える方のご相談を受けることが多いので、知識を与えていただきありがたいです。また、成功事例のご紹介で、あきらめてはいけないと勇気づけられました。
- ◇ 当事者の方とともにネットワークを作る、という言葉がとても印象に残りました。面談にとっても力を入れてされているのだと思います。

平成28年度地域精神保健研修会及びひきこもり支援研修会



開催日：平成28年6月22日（水）

講演テーマ：「不登校・ひきこもり - 子どもたちの心を抱え、家族を支えること -」

講師：黒崎 充勇 先生

（広島市立舟入市民病院 小児心療科 医師）

会場：シェラトンホテル広島

参加された方より

- ◇ 4つの事例を通して不登校に至る要因が本当に様々であることを初めて知った。そして、家族の力だけでは問題を解決することが難しいこと、SCや養護教師、医師などの力が子供たちだけでなく家庭の立て直しに大切な力を発揮していることを知った。当人たちの自尊心を引き出す方法もケースによって本当に様々であり、現場で苦慮されている様子が伺えた。先生も言われていたが、個別のオーダーメイドの方法で接していくことはたとえ分野が違っても必要な視点であると思った。

こころの電話

当協会は、精神保健相談指導事業として「こころの電話」相談（TEL082-892-9090）を行っております。月・水・金曜日の週3日9：00～12：00、13：00～16：30の時間帯で対応しています。また、第2・第4金曜日には医師相談の体制も整えております。

平成27年度の相談件数は610件で、最も多かったのは4月の70件でした。相談内容については、精神障害の治療に関する事、うつに関する事、家庭内の問題が多く、その他様々な内容が重複するものなど多岐にわたっていました。

相談内容	合計	相談内容	合計	相談内容	合計
精神障害の治療に関する事	69	社会復帰に関する事	6	児童虐待	1
うつに関する事	41	心気症及び心身症な悩み	5	配偶者暴力	1
その他の家庭内の問題	37	発達障害に関する事	5	摂食行動に関する事	1
精神障害の心配・診断	25	引きこもりについて	3	薬物依存	1
対人関係についての悩み	19	飲酒に関する問題	3	高次能機能障害に関する事	1
職場についての悩み	19	認知症等に関する事	3	精神障害への関わり方	1
その他の依存	18	家庭内暴力	2	非行・反社会的問題	0
経済・福祉・法律に関する事	18	近隣とのトラブルについて	2	性についての悩み	0
自殺に関する事	10	デイケアに関する事	2	犯罪被害に関する事	0
児童の発達・発育上の問題	6	不登校	1	その他	310
				総数	610

広島ひきこもり相談支援センター

広島ひきこもり相談支援センターでは、県内にお住まいで、概ね18歳以上の方の社会参加や自立のお手伝いをします。相談内容に応じて他の適切な関係機関とつながるように支援します。相談は無料です。面接相談は予約が必要です。平成27年度の相談件数は電話、面接、メール、訪問相談の県全体の合計は5329件でした。

	西部	中部・北部	東部
所在地	広島市西区楠木町1丁目8-11	広島市安芸区中野東4丁目5-25-2F (Seno リバービレッジ内)	三原市小泉町4245
開所時間	月・水・木・金・土 9：00～18：00 (祝日を除く)	月・水・木・金・土 8：45～16：45 (祝日を除く)	火・金 9：00～17：00 (祝日を除く)
電話番号	082-942-3161	082-893-5242	0848-66-0367
E-Mail	soudan@qq.pref.hiroshima.jp		
URL	http://cross-hiroshima.com/index.php/center	http://ww4.enjoy.ne.jp/~h-	http://jinkokai.jp/koizumi/

平成28年度一般社団法人広島県精神保健福祉協会長表彰受賞者

【精神保健活動功労者】 (敬称略)

山岡 信明	医療法人仁康会 小泉病院 医師
大田 垣 洋子	医療法人三永会 京橋心療クリニック 医師
岩本 裕子	いわもとメンタルクリニック 医師
角野 菊枝	医療法人緑風会 ほうゆう病院 看護師
山根 郁江	広島県立総合精神保健センター デイケアプログラム講師
長岡 修	庄原断酒会 元会長
甲田 実	三原断酒友の会 会長

【精神保健活動優良団体功労者】

森の工房あやめ
フリースペース スマイル中山

受賞おめでとうございます

表彰式にて



DVD・プロジェクター等無償貸出し

※ 貸し出しは協会員の方に限ります。
ぜひこの機会にご入会ください。

「こころの病気～現代社会を生き抜くために～」
 「働きざかりの精神衛生～ストレスをのりこえる～」
 「150万人の訴え～精神障害者・その人権と差別」
 「ある湖畔より ある地域精神保健福祉の歩み」
 「本人・家族のための統合失調症講座」
 「ACTは地域精神医療を変えるか」
 「アルコール依存 回復プロセスと再発予防」
 「もうひとつの人生（アルコール依存）」
 「アルコールの害～未成年者の飲酒～」
 「アルコール依存症」
 「回復への道」（薬物依存）
 「「薬物依存」孤独そして絶望からの脱出」
 「人間やめますか？～魔の覚せい剤～」
 「シンナー～心と身体をむしばむもの～」
 「巣立ち～社会復帰の実践～」
 「大富士方式～社会参加への羽ばたき～」
 「虐待を防ぐために」
 「働くことが困難な若者を社会的に支援するためには」
 「DVDで学ぶ新しいSST」
 「DVDで学ぶ新しいSST・事例集」

「Beck&Beckの認知行動療法ライブセッション」
 「EBP実践・普及ツールキット」
 「服薬自己管理モジュール」
 「精神障害を持つ人の退院準備プログラム」
 「親と教師のための自閉症の子どもの評価」
 「わかるできる！親と教師のための自閉症の子どもの自立」
 「発達障害の理解と支援～わかり合って素敵だね！～」
 「老年期をどう生きるか～心の健康～」
 「認知症のケア」
 「てんかん発作と介助」
 「医療職のための包括的暴力防止プログラム」
 「子どものうつ病」
 「自律訓練法のすすめ方」
 「青年期、成人期の発達障害者支援」
 「出所後の道しるべ～薬物を使わない新たな人生に向かって」
 「WRAP—その魂にふれる」
 「生きていくってしんどいねえ～ひとりじゃないよ～」



平成28年度事業計画概要

継続事業1 精神保健福祉相談事業

ア こころの電話相談委託事業

県民からの精神的な相談を受け、助言や適切な機関の案内をおこなう

イ 内閣府 こころの健康相談統一ダイヤル事業

広島県内からこころの健康相談統一ダイヤルに入電される相談を転送して受け付ける

ウ 広島ひきこもり相談支援センター事業

ひきこもり本人、家族からの電話、来所、訪問などを実施し、適切な関係機関につなげる

継続事業2 精神保健福祉普及啓発研修事業

ア 一般社団法人広島県精神保健福祉協会長表彰

精神保健福祉事業に功績のあった個人、団体に対して表彰をおこなう。表彰式は平成28年6月を予定

イ 協会ニュースの発行

ウ 地域交流支援

精神保健福祉に関連する活動している団体のうち選考により3団体について各\50,000を助成する。広島県内の行政機関に推薦を依頼。選考委員により、資金助成の必要性、自主性、社会性などの選考基準から助成団体を決定

エ 地域社会交流促進研修会

精神障害者社会復帰施設等において援助を行っている職種の方を対象に、精神障害を有する人の社会復帰について、シンポジウムもしくは講演会を年に1回開催。平成29年3月を予定

オ 地域精神保健研修会及びひきこもり支援研修会：平成28年6月に実施済み

カ 地域精神保健活動推進事業

精神保健福祉活動を実施している県内の断酒会、精神保健福祉家族連合会、認知症の人と家族の会、各団体に\50,000を助成する

その他の事業1

ア 広島県児童思春期精神保健事例検討ワークショップ事業

児童思春期に関連する精神的問題について、講演会や事例検討を年に1回開催。平成29年1月を予定

研修会のご案内

広島県児童思春期精神保健事例検討ワークショップ

テーマ「不登校の理解と支援」

公開レクチャー講師：山崎 透先生

(静岡県立こども病院 こころの診療センター)

日時：平成29年1月14日(土) 広島国際大学 広島キャンパス(広島市中区幟町1-5)
9:20~17:00 予定

対象：公開レクチャー 児童思春期精神保健の問題に関心のある方

全プログラム 児童思春期精神保健の領域で教育・相談・指導・治療等に関わっている方

受講料：公開レクチャーのみ(午前) 協会員・学生 2,000円 一般 3,000円

全プログラム(全日) 協会員・学生 4,000円 一般 6,000円

会費納入について

平成28年度会費をまだ納入いただけていない会員の方は、下記の口座へお振込みください。郵便振込を希望される方は事務局までお問合せください。

口座名義 一般社団法人広島県精神保健福祉協会 会長 山脇成人
口座番号 広島銀行 矢野支店 普通口座 3051493

個人会員：1,000円

団体会員：5,000円 7,000円 8,000円

特別会員：18,000円

移動があったら

事務局から会員の皆様にお送りする郵便が、宛先不明で返送されることがあります。

氏名、住所、所属などに移動がありましたら事務局までご連絡ください。

一般社団法人広島県精神保健福祉協会

〒739-0323 広島市安芸区中野東 4-11-13 瀬野川病院内 TEL 082-893-6242 FAX 082-893-6243

URL:<http://ww4.enjoy.ne.jp/~h-mha/> E-mail :h-mha@do4.enjoy.ne.jp

